

「人工知能・ロボットの活用事例

ー 中小企業でも実現できた自律移動型警備ロボットー

17のゴールを目指したSDGsを実現するイノベーションとして、人工知能とロボットがあり、その重要性が様々なセミナーなどで述べられています。しかし、研究開発の主導は、大企業や大学あるいは一部の先進的な開発型ベンチャーに限られています。さらに、実際の活用に至っては大企業が導入し始めたに過ぎません。

今回、慢性的な人材不足に対応するため、資金力の弱い中小企業の警備会社でも導入可能な自律移動型警備ロボットの開発を、大学と中小企業の産学連携で実現しました。

当日は、開発にあたった大学、企業の方々より、技術や開発思想の紹介を頂き、自律移動型警備ロボットのデモを見学頂きます。

【日 時】 2019年 10月30日（水） 14：00～17：00（受付開始 13:30）

【場 所】 龍谷大学 瀬田キャンパス REC小ホール
（大津市瀬田大江町横谷1-5 JR琵琶湖線「瀬田」駅よりバス約 8分）

【申込方法】

裏面申込書をFAXいただくか、E-mail（rec@ad.ryukoku.ac.jp）にて
必要事項（裏面参照）送信、または、こちらのサイトからお申込ください →
（<https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/biz-net-201905/>）



【参加費】 無料

プログラム

開会の挨拶（14：00～14：10）

1 「自律移動型警備ロボットによる次世代型警備サービスの構築」（14：10～14：40）
株式会社NYS 代表取締役 中井 康雄

2 「AI・ロボットによる産業の変革ー警備ロボットへの導入例ー」（14：40～15：30）
龍谷大学 理工学部 電子情報学科 講師 植村 渉

< 休 憩 15：30～15：40 >

3 「通信技術とIoT活用事例」（15：40～16：10）
トランスブート株式会社 代表取締役 田中 允也

4 自律移動型警備ロボットのデモ（16：20～16：40）

5 名刺交換会（16：40～17：00）

参加申込書★締め切り：2019年10月28日（月）

龍谷大学REC宛（送付状不要） FAX: 077-543-7771

申し込みの際は、必要事項をご記入の上、FAX（送付状不要）でいただくか
E-mail（rec@ad.ryukoku.ac.jp）またはこちらのサイトから申してください。→
（ <https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/biz-net-201905/> ）



会社名			
所在地	（〒 - ）		
TEL		E-MAIL	
所属		役職	
氏名			
所属		役職	
氏名			

※1組織で3名以上ご参加される場合、お手数ですが本用紙をコピーしてお申し込みください。

※記入いただきました個人情報は、本学プライバシーポリシーに基づき、厳重に管理いたします。（龍谷大学 龍谷エクステンションセンター）

<講演概要>

1 「自律移動型警備ロボットによる次世代型警備サービスの構築」

株式会社N Y S

代表取締役 中井 康雄

フルスペックで高額な「人に替わるロボット」を目指す大手警備会社に対して、「人とロボットとの協働による効率的な警備業務の実現」をコンセプトとした自律移動型警備ロボットの開発に至った経営的な思いと産学連携の効果を企業の立場から紹介します。

2 「AI・ロボットによる産業の変革－警備ロボットへの導入例－」

龍谷大学 理工学部 電子情報学科 講師

植村 渉

AI・ロボット・IoTの導入による第四次産業革命により、産業は大きく変わろうとしています。その中で、ものづくり現場の変革を促すロボット技術を競う競技大会として、RoboCup - Logistics League、World Robot Summit - Industrial Category、そしてWorld Skills - Mobile Robot があります。これら競技大会の最先端の情報を紹介すると共に、これからの産業のオートメーション化がどのように変わっていくかについて警備ロボットの例を交えながら展望を紹介いたします。

3 「通信技術とIoT活用事例」

トランスポート株式会社

代表取締役 田中 允也

当社は、電子回路技術・ソフトウェア技術・通信技術という電子機器システムの開発に必要なハードからソフトそして通信という技術を全て保有していることを強みとしています。この強みを生かし開発した通信技術の紹介と通信技術を使用したIoTの事例を紹介いたします。